

「政治をもっとわかりやすく!」をお届けします

いけたくチャンネル No.34

2022
Oct.
発行

発行元 池下卓事務所 〒569-1121 大阪府高槻市真上町1-1-18Insist3A Tel/072-668-2013 Mail/info@iketaku.jp

情報発信中!!

Facebook
Instagram
Twitter

池下卓 検索

衆議院議員

池下卓

いけたく



「島本町」特集!!の巻

日本維新の会

1975年生まれ、高槻市山手町出身。税理士。大阪府議会議員を3期務め、令和3年に衆院選初当選。現在、衆議院厚生労働委員会理事、地方創生に関わる特別委員会所属。趣味は書道、茶道、自転車。



あなたの街で国政報告会

池下卓の

卓配便

お気軽にお越しください

参加費
無料

令和4年10月22日(土) 14:00~15:00

場所 高槻市立生涯学習センター 3階
〒569-0067 大阪府高槻市桃園町 2-1

令和4年11月12日(土) 14:00~15:00

場所 島本町立 人権文化センター 右図参照
〒618-0011 大阪府三島郡島本町広瀬 2-22-27



新型コロナウイルスの感染予防対策のため必ずお申し込みをお願いします

対策内容(マスク着用・消毒・健康状態の申告など)については会場の指導に準拠します。天候・災害などや新型コロナウイルスの影響で会場が使用できない等の措置があった場合には中止になる場合があります。

お申込み・お問合せ

[Tel]072-668-2013

[Mail]info@iketaku.jp

池下卓事務所

QRコードからの申込みは右記をスマートフォンで撮影して下さい



政治を楽しく!わかりやすく!

YouTube版 いけたくチャンネル 配信中!!



いけたくチャンネル

検索



大阪維新の会

おおさかいしんのかい

島本町議会議員団

をご紹介します



大久保たかゆき



山口ひろよし



中嶋じゅんじ

◆昭和35年生まれ。桜井在住、元陸上自衛官、退官後、救急救命士・看護師。現在2期目。

◆令和元年11月防災士を取得・島本町防災指導員、陸上自衛隊予備自衛官。

【議会での討論 R4.12.13】東大寺にある「盛り土」問題の今後について、国土交通省は本年7月の熱海市の土石流災害を受け、宅地造成等規制法を大幅改正し盛り土を規制強化する新制度を創設する方針を固めました。

法改正も視野に入れ、島本町内にある盛り土の更なる撤去を要望いたしました。また、国・府・町の連携により、大阪府から年内に、盛り土撤去を進展させる旨のご連絡をいただきました。今後の動きを注視いたします。

◆昭和27年 佐賀県生まれ。広瀬在住、昭和46年島上高校卒業。昭和50年関西大学商学部卒業、昭和50年京都銀行入行。

◆平成17年島本町議会議員選挙初当選(現在3期目)。監査委員、総務文教常任委員会委員長、建設水道常任委員会委員長を歴任、現在、総務建設水道常任委員会委員、大阪拉致議連会員、防災士。

【島本町の課題】新しい住宅ができ人口は増えていますが、財政状況が厳しい中、耐用年数が過ぎているごみ処理施設の問題、道路事情、建設予定の新庁舎における多額の建設資金など、多くの問題が山積みです。行財政改革を積極的に推進し、財政を少しでも安定させるよう努力します。

◆昭和56年生まれ。山崎在住。家族は妻と長男。春日丘高校、同志社大学神学部卒業。

◆令和3年島本町議会議員選挙初当選、総務建設水道常任委員会委員、大阪拉致議連会員。

【コロナ対策として】私自身濃厚接触者になった経緯があり、その時の島本町のコロナ対応に疑問を感じました。早速行政に対し自宅待機者の支援策を提案。結果、予算をつけてコロナ陽性者に自宅待機支援セットを配ることが実現しました。令和4年8月末で2,410セットが届いています。これからも島本町にとって必要だと感じたことを積極的に提案していきますのでご支援、ご鞭撻の程、宜しく願いたします。

維新の「身を切る改革」島本町へ寄付 ～高槻市議団 報酬の一部を当町へ～

本年8月25日、同志である大阪維新の会高槻市議会議員団が島本町役場に来庁。維新の議員が「身を切る改革」の一貫として続けている、報酬削減分の一部を会派一同で島本町に寄付しました(3,183,840円 6人分)。

厳しい町の財政状況においては非常にありがたいことで、少しでも町の助けになればと考えます。

贈呈式では町長、副町長、理事者の皆様にもお時間を頂き、島本町と高槻市での地域活性化案や、今後可能な広域連携等について意見交換もおこない、相互理解が深まる有意義な時間となりました。



山田町長と維新の会議員団

年間維持費に約1億円！？～これでいいのか？焼却場問題～



島本町尺代の焼却場

昭和47年、尺代に清掃工場が建てられました。その後20億円の資金を投じ、平成3年に現在の工場が完成しています。焼却炉自体の耐用年数は20年で、既に11年も超過しています。

しかしながら焼却炉の建て替え問題、ごみ行政の運営について、山田町長は何も示さないままです。高槻市

との広域連携を進めるのか、ごみの有料化を考慮し業者委託に舵をきるのかなどの方向性が見えず、毎年焼却場に約1億円から2億円のメンテナンス料を支払い続けています。また、いくら修繕を施しても、いつ稼働が止まってもおかしくない状況に、町民の一人としても不安が募ります。首長が何かしらの方向性を示し議会の協力を求めることが必要です。